



**UNITED NATIONS  
UNIVERSITY**

2007年1月11日  
MR/J01/07

メディア用原稿  
非公式記録

国際連合大学 広報部  
〒150-8925  
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811  
Fax: 03-3499-2828  
E-mail: media@unu.edu  
Website: http://www.unu.edu/

## 第6回キッズ ISO 14000 プログラム国際認定証授与式 2007年1月27日(土)

- 日時:** 2007年1月27日(土) (午前10時30分より)
- 場所:** 東京、青山、国連大学 3階 ウ・タント国際会議場
- 主催:** 国際芸術技術協力機構 (ArTech)
- 共催:** 国際連合大学、国連環境計画 (UNEP)
- 後援:** 国連持続可能な開発のための教育の十年 (DESD)、国際標準化機構 (ISO)  
文部科学省、環境省、経済産業省、日本ユネスコ国内委員会、東京都、埼玉県、  
日本電気協会日本電気協会
- 協賛:** あいおい損害保険(株)、アジレント・テクノロジー(株)、(株)学習研究社、カシオ計算機(株)、  
Casio Inc.、(財)自然農法国際研究開発センター、(株)商船三井、セイコーエプソン  
(株)、ソニー(株)、電気事業連合会、東京電力(株)、日本ヒューレット・パッカー(株)、  
(株)品質保証総合研究所、富士フイルム(株)、富士ゼロックス(株)、(株)文化放送
- 協力:** (財)省エネルギーセンター、(株)西友、日本経済新聞社エコプロダクツ展  
(財)日航財団、(財)日本品質保証機構、大日本印刷(株)

### 背景:

- 「キッズ ISO 14000 プログラム」は子どもの環境教育プログラム。国連機関として、はじめて ISO 14000 に認定された国連大学は、2000年により、本プログラムへの協力および普及に努めている。
- 本プログラムでは、環境への意識を高め、子供たちは、環境マネジメントの方法を「プランニング→行動→チェック→実施」のプロセスにより学び、家庭の省エネルギーやごみの減量などを大人と協力して実施。さらに、マネジメントが出来るようになった子どものネットワークにより、地域の環境問題など、さらに大きな環境問題に取り組む。
- 2000年に ArTech (NGO/NPO) が本プログラムを開始した当初、参加した子どもの数は500名。現在は15万人が取り組み、家庭からのCO2の排出については、5万トン以上の削減に成功している。
- 東京都を含め、北海道、三重県などが、環境への意識高め、CO2の排出削減を実施するための本プログラムを政策として採用している。また、現在、50以上の私企業が、CSR (企業の社会責任) の一環として本プログラムを支援している。
- 現在ニューヨーク市の公立学校では、国際交流基金、カシオ計算機米国法人および他財団の協力の下、本プログラムの導入が進められている。
- 本プログラムは、国連大学、国連環境計画、ユネスコおよび国際標準化機構 (ISO) などの機関による支援の下、国際的に展開されている。
- 詳細: <http://www.artech.or.jp/japanese/kids/index.html> (日本語)
- 国際芸術技術協力機構の国際委員会は、プログラムを終了した子供たちに対し、国際認定証を授与。本年度は、900名以上の子供たちが初級認定書の授与の対象。当日参加の授与対象者へは、国連大学のハンス ファン・ヒンケル学長より、一人ひとりに国際認定証が授与される。
- 同授与式は、当日、ウェブキャストでも閲覧可能。  
<http://c3.unu.edu/unuvideo/index.cfm?120>

取材ご希望の方は、国連大学広報部、担当: 谷野 (やの) (TEL: 03-5467-1311、e-mail: [media@unu.edu](mailto:media@unu.edu)) までご連絡ください。